

News Release

2022年6月30日
独立行政法人製品評価技術基盤機構
NITE（ナイト）
東北支所

「無謀なDIY^{※1}」が招く危険 ～エアコンの事故～ (東北版資料)

1. 事故の発生状況

東北地方6県(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)で2017年度から2021年度の5年間にNITE(ナイト)に通知された製品事故情報^{※2}において、エアコン^{※3}の事故は10件ありました。

被害状況は死亡1件、重傷1件、軽傷1件、拡大被害が5件、製品破損が2件となっております。

表1 エアコンの年度別事故発生件数

発生年	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
2017年度	0	0	0	1	0	0	1
2018年度	1	0	0	0	0	0	1
2019年度	0	0	2	0	0	0	2
2020年度	0	0	2	0	0	1	3
2021年度	0	0	0	2	0	1	3
合計	1	0	4	3	0	2	10

表2 エアコンの事故の被害状況別発生件数

被害状況	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
死亡	0	0	1	0	0	0	1
重傷	0	0	1	0	0	0	1
軽傷	0	0	1	0	0	0	1
拡大被害	1	0	1	3	0	0	5
製品破損	0	0	0	0	0	2	2
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	4	3	0	2	10

表3 エアコンの事故の原因区分別発生件数

原因区分		発生県						合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	B: 製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0	0	0
事故製品に起因しない	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	1	0	0	0	1
	E: 誤使用や不注意によるもの	0	0	1	0	0	0	1
	F: その他製品に起因しないもの	0	0	0	0	0	1	1
G1、G2: 原因不明のもの		1	0	2	1	0	0	4
H: 調査中のもの		0	0	0	2	0	1	3
合計		1	0	4	3	0	2	10

(※1) 本資料では、消費者自らが、取扱説明書や施工説明書で禁止している又は専門の資格を持たないときできない製品の整備や修理、加工などを行うことを指します。

(※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含み、事故発生年月が不明なものを除きます。

(※3) ルームエアコン（室外機、室内機）

2. 主な事故事例

○ 2020年1月4日 エアコン(宮城県、50歳代男性)

事故内容: 当該製品を使用中、当該製品内部及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因: 使用者は4～5年前に市販のスプレー式洗浄剤で清掃を行ったことがあるとの申出があり、当該製品の外部から洗浄剤成分が浸入し、ファンモーターのコネクター部に付着したことにより、端子間でトラッキング現象が生じて出火に至ったものと考えられる。

なお、取扱説明書には、「洗浄は自身で実施せず、販売店又は事業者修理相談窓口にご相談する。誤った使用方法で内部洗浄を行うと、発煙、発火する恐れがある。」旨、記載されている。また、日本冷凍空調工業会では、ホームページ上において、「エアコン内部の洗浄は専門知識が必要です。もし誤った洗浄剤の選定、使用方法で内部洗浄を行うと、エアコン内部に残った洗浄剤で、樹脂部品の破損、電気部品の絶縁不良などが発生し、最悪の場合は、発煙、発火につながる恐れがある。」旨、注意喚起を行っている。

○ 2020年9月11日 エアコン室外機(宮城県、年齢不明男性)

事故内容: 修理作業中のエアコン室外機が爆発して周辺を破損し、2人が軽傷を負った。

事故原因: 修理業者が気密試験に本来窒素を充填すべきところ、酸素を充填して圧縮機を運転させたため、圧縮機内部が異常高温・高圧状態となり、破裂したものと推定される。なお、据付工事説明書には、「冷凍サイクル(配管)内に空気などを混入させない。破裂、けがの原因になる。」旨、記載されている。

3. エアコンの事故を防ぐポイント

- 「無謀な DIY」によるエアコンの設置・撤去などの工事、エアコンの内部洗浄を行わない。購入先である販売店、メーカーのサービス窓口、専門業者などに相談し、専門の知識、資格を持った業者に依頼する。
- リコール対象製品か確認し、リコール製品をお持ちの場合は、不具合が生じていなくても使用を中止し、お買い求めの販売店や製造・輸入事業者にご相談する。

4. 製品事故の実験映像につきまして

製品事故の写真及び動画をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

【編集人のつぶやき】

暑い夏に熱中症対策としてもエアコンは欠かせませんよネ。

節電が強く求められる今年の夏、冷房の効率を上げるために、エアコンの室内機・室外機の定期的なメンテナンスが重要ですが、「無謀な DIY」で火災になっては元も子もないです。

取扱説明書で禁止されていることなどは、専門の知識・資格を持った業者へ依頼して、厳しい夏を快適に乗り切りましょう～。

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

独立行政法人製品評価技術基盤機構 東北支所(略称:NITE) ナイト

責任者(支所長):高橋 幹男

担当:齋藤(さいとう)、福井(ふくい)、菊地(きくち)、成田(なりた)

電話:022-256-6423

E-mail: jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ



YouTube
公式チャンネル



Twitter
公式アカウント

